

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。詳細は市HPをご覧ください。

☎広報課 983・2620

三島市 市民活動団体応援

【凡例】 曜とき・場場所・内容・講師・費用（記載なしは無料）・対象・定員・持ち物・注意事項・申込み（記載なしは不要）・問合せ

文化

第76回静岡県書道連盟 書きぞめ三島・伊豆地区展

☎1月27日(土)、28日(日)午前9時～午後5時(28日(日)は正午まで)☎生涯学習センター3階☎幼稚園、小・中学生、高校生、一般の書きぞめ作品を展示☎長島 ☎986・5118

みらいつなぐ こどもとおとなのための 新春チャリティーコンサート

☎1月29日(月)開場：午後5時30分、開演：午後6時☎みしまプラザホテル本館2階「プロヴァンスの九月」☎出演：矢吹和之さん(津軽三味線)、片岡亮太さん(和太鼓)、山村優子さん(ジャズホルン) ☎大人3,000円、高校生以下1,500円☎150人☎☎みしまプラザホテル ☎972・2121

スポーツ・健康

知的障害者国際スポーツ団体です 毎週楽しくボウリングの練習をしよう

☎1月13日(土)、27日(土)、2月より毎週金曜日午後6時30分～8時30分☎ジョイランドボウルみしま☎毎回30分程度のフリー投球後、2ゲーム行います。※できるだけ家族と一緒に参加、ペアを組む健康者も募集☎1ゲーム400円☎小学生以上☎☎スペシャルオリンピックス日本・静岡・小林 ☎090・4440・5884

その他

江戸時代から続く伊豆半島を巡る 伊豆八十八ヶ所霊場の説明会

☎1月17日(水)午後2時～3時☎場佐藤塾(本町13・21) ☎伊豆半島全域444kmの壮大な霊場。お遍路ツアーの無料説明会を開

催※毎月第2水曜日に開催予定☎一般参加者、観光事業者など☎先着30人☎☎NPO 伊豆霊場振興会 (<http://izu88.net>)

不動産無料相談会

☎2月8日(休)午後1時30分～4時☎プラサヴェルデ402会議室(沼津市)☎相談員：協会員(土地家屋調査士、建築士、宅地建物取引士など資格保有者)、弁護士、司法書士、税理士☎先着20人☎資料(契約書など)があれば持参☎☎1月15日(月)午前10時より(公社)全日本不動産協会静岡県本部 ☎054・285・1208

求職者支援訓練受講生募集 病院受付・調剤事務科(短期間・短時間)

☎3月1日(金)～29日(金)各午前9時30分～午後2時☎ニチイ学館沼津校(沼津市)☎8,000円(テキスト代)☎ハローワークで積極的に求職活動をしている失業中の人☎15人☎2月5日(月)までに住所管轄のハローワーク☎ニチイ学館沼津校 ☎0120・781・023

3月1日号への掲載の申込みは、1月19日(金)までに電子申請
(電子申請がご利用いただけない場合は、申込用紙を広報課 FAX 983・2719)

電子申請 (<https://logoform.jp/form/pqff/143867>) はこちら▶



市民生活
相談センター
からの
お知らせ

ストップ! 消費者トラブル

慌てないで!

ネットで探したロードサービスのトラブル

自動車の故障や事故の際、インターネットで見つけたロードサービス業者に作業を依頼したところ、事前に説明のなかった高額な費用を請求されたなどの相談が寄せられています。

■事例

外出先の駐車場で車のバッテリーが上がリ、ネットで調べたロードサービス業者に出張修理を依頼した。ネットの広告では「3,450円から」と格安だったが、修理後、業者から7万円を請求された。現金を持っていないので支払えないと言うと、自宅まで業者がついてきたので、仕方なく全額現金で支払ってしまった。(当事者：学生)

■アドバイス

◆修理などを急ぐあまり、慌ててインターネットを検索し、ロードサービス業者に依頼しているケースが見受けられます。自動車保険にはロードサービスが付帯しているケースが多くあるため、日ごろから保険の内容をよく確認し、トラブルが発生した場合は、まずは契約している損害保険会社や保険代理店に問い合わせましょう。

◆現場の状況次第では、広告表示や説明通りの料金で依頼できるとは限りません。事前に作業内容や料金、キャンセル料などを必ず確認するようにしましょう。

◆広告などの表示額と実際の請求額が大きく異なる場合は、クーリング・オフができる可能性があります。不安に思ったときや困ったときは、三島市消費生活センターまたは消費者ホットライン(局番なし188)へご相談ください。

☎三島市消費生活センター(市民生活相談センター内)
☎983・2621

歴ゆみ小箱

No.427

郷土ゆかりの映画監督
五所平之助

今回は三島にゆかりのある映画監督・五所平之助氏（一九〇二―一八一）と最後の作品『わが街三島一九七七年の証言』について紹介します。

郷土資料館では、企画展示「三島宿へようこそ」（令和6年2月18日(日)まで）を開催しています。

郷土資料館（楽寿園内） ☎971・8228

明治三十五年、東京に生まれた五所平之助監督は、二十一歳の時に松竹蒲田撮影所に助監督として入社し、二十三歳で監督デビューしました。現代劇の新鋭監督として同世代の中でいち早く頭角を現し、二十九歳で日本映画初の本格的トーキー（発声映画）『マダムと女房』（一九三一年）を制作しています。その後も『恋の花咲く伊豆の踊子』（一九三三年）など次々とヒット作を生み出し、名監督の名を不動のものとし、『煙突の見える場所』（一九五三年）でベルリン国際映画祭国際平和賞を受賞しました。日本映画の草創期、サイレント（無声映画）時代から

戦後の黄金時代を駆け抜け、およそ半世紀にわたって日本映画界で活躍し続けた五所監督は、生涯九十九本もの作品を残しました。

そんな五所監督の最後の作品が『わが街三島一九七七年の証言』（一九七七年）です。この映画は三島市民サロンの依頼によって撮影された三十分程度のドキュメンタリーです。

源兵衛川の湧水復活に尽力した窪田精四郎氏や児童文学作家の小出正吾氏、詩人・評論家である大岡信氏らとともに五所監督自身も出演しており、子どもたちにやさしく語りかける姿が印象に残ります。

五所監督と三島とのつながりは、再婚した夫人の縁で昭和二十八年に三島市に移住したことからは始まります。歳は五十一、後半生を三島で過ごすことになりました。五所監督は若い仲間と意見を交わすことを好み、三島駅近くの小料理屋「やっこ」でよくお酒を酌み交わしていたようです。その交流の中から昭和四十九年に「三島市民サロン」が設立され、顧問を引き受ける

ことになりました。三島市民サロンはさまざまな分野で活動する人たちの講演会や映画上映会の開催を活動の主体としており、昭和五十八年に活動を終えるまでの十年間で、延べ六十三人の著名人を講師に迎えた講演会を開き、四十本の映画を上映しました。

そうした活動の中で、みんな映画をつくりたいと、顧問である五所監督を頼って制作されたのが『わが街三島一九七七年の証言』です。当時、湧水の枯渇や水辺環境の悪化が進んでいたことから、かつて「水の都」と呼ばれた三島の歴史と水質汚染の問題を柱として製作されました。この映画は、三島において環境保全活動を活発化させるきっかけにもなり、現在も多くの市民団体や事業者が行政と協働して進める「街中がせせらぎ事業」などの活動につながっています。



▶パンフレット
『わが街三島一九七七年の証言』

わたしの

おばあちゃん

当番 いちかわ れいかさん

私の祖母は、油絵、水墨画、弓道、書道、英語が得意です。

また、長年、高校で家庭科を教えていたので、裁縫や料理が上手です。祖母が作ってくれた揚げたての海老やさつま芋の天ぶらは、大変美味しいです。

祖母は私に裁縫やミシンの使い方、優しく丁寧な布を教えてくれます。今は、様々な柄の布を使って、パッチワークを作っています。

おばあちゃん、幼い頃から、温かく見守ってくれてありがとう。これからも色々な事を教えて下さい。

